

案件 3

「災害廃棄物処理計画策定モデル事業について」

災害廃棄物処理計画策定モデル事業について

1 概要

大規模災害発生時における市民の健康・環境衛生面での安全・安心の確保や迅速な災害復旧のためには、災害廃棄物の迅速かつ適正な処理が必要不可欠であり、そのためには、平常時にあらかじめ必要な想定を行い、課題の抽出・整理を行うとともに、具体的で実効性のある対策を事前に検討・準備しておくことが必要です。

茨木市でも、国の「災害廃棄物対策指針」・「大規模災害発生時における災害廃棄物対策行動指針」及び大阪府の「大阪府災害廃棄物処理計画」に沿い、「茨木市地域防災計画」を補完するとともに、災害廃棄物の円滑な処理を推進するため、想定される災害に対しての事前準備や発災後の処理体制の整備などを内容とする「茨木市災害廃棄物処理計画」の策定を検討しています。

今年度実施する「災害廃棄物処理計画策定モデル事業」は、国の支援により、災害廃棄物の発生量や必要な仮置場の面積の推定等を行う事業であり、今後策定する「茨木市災害廃棄物処理計画」を実効性の高い計画とするものです。

2 平成30年度のモデル事業の対象地域（近畿ブロック）

茨木市（大阪府）・近江八幡市（滋賀県）・京田辺市（京都府）・精華町（京都府）・枚方市（大阪府）・尼崎市（兵庫県）・生駒市（奈良県）・王寺町（奈良県）・田辺市（和歌山県）・新宮市（和歌山県）

3 事業の内容

- ①災害廃棄物及びし尿の発生量の推計
- ②災害廃棄物の処理可能量の推計
- ③仮置場の必要面積の推計及び仮置場の効率的な運用に係る検討

4 モデル事業実施期間

平成30年8月から平成31年3月31日（予定）

5 「茨木市災害廃棄物処理計画」策定予定時期

平成31年4月着手、平成33年3月策定を予定していますが、前倒しの可能性もあります。

6 他市の策定状況

- ・高槻市（平成29年1月見直し）
- ・豊中市（平成30年3月策定）
- ・吹田市（平成20年9月策定、平成30年度中に見直しする予定）